

こんにちは 新社会党



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2025年5月号

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 Fax 03-6380-9963
郵政 00140-0-149727 1か月700円・送料168円 1部175円・送料42円

https://www.sinsyakai.or.jp/ E-mail honbu@sinsyakai.or.jp

平和と生活破壊の大軍拡政治転換を

社会民主党・新社会党が 憲法共同アピールを発表

その後貸し切りバスなどで滞在地のホテルなどに宿泊してもらおうとしています。

■戦後80年、被爆80年の憲法記念日を迎えました。日本国憲法は「戦争の放棄」を高らかに宣言しましたが、今年度の政府予算で防衛費は8兆7千億円と史上最高額を更新しました。「中国の脅威」「北朝鮮の脅威」

を口実とした軍事拡大は全国に広がり、住宅街にも弾薬庫が作られる事態となっています。それでもトランプ米大統領は「これでも少ない。もっと防衛費を増額しろ」と日本政府に迫っています。

■「戦争の放棄」はただの理想論なのでしょうか。そんなことはありません。防衛省は3月末に「台湾有事」に際して沖縄・先島諸島住民ら12万人を九州各県や山口県に避難させる計画を明らかにしました。それによると12万人を6日間程度で自衛隊や海上保安庁の船舶、民間のフェリー、航空機を使って避難させ、

■机上の空論とはこのことです。12万人には嘉手納基地や普天間基地がある沖縄県で最も住民の多い沖縄本島は含まれていません。また運転手不足が叫ばれているなかで12万人もの人々を一気に輸送することなど到底不可能です。飼育している牛や馬、そして畑はどうなるのでしょうか。

■沖縄戦で「対馬丸事件」という悲劇が起きました。対馬丸は幼い子どもたちが疎開をするために長崎へ向かっていましたが、米海軍の潜水艦の魚雷攻撃を受け、約1500人が死亡しました。こうした「有事」の際の住民避難は原発事故についても避難計画が作成されようとしています。実行不可能な計画しか示されていません。

■沖縄県民は地上戦で当時の県民の4分の1にあたる12万人余りが死亡した経験から「ヌチ

ドウタカラ（命こそ宝）」「軍隊は住民を守らない」を教訓に戦争につながるあらゆる動きに反対し、平和を求めてきました。■日本は島国です。海上が封鎖されれば食料、エネルギーの輸入はできなくなり、国民は餓死の恐怖に直ちに直面します。食料自給率38%の日本で唯一自給が可能といわれていたコメが品不足となり、高騰しています。対話による平和外交の確立こそ戦争回避の道です。

■7月には参院選が予定されています。私たちは訴えます。平和憲法の理念を空洞化し、改「正」をも狙う勢力の拡大を許さず、生活といのちが最優先される平和国家への道をめざす勢力の拡大を実現しましょう。



2025年5月3日

憲法記念日にあたって

よびかけ 社会民主党・市民共同

社会民主党 党首 福島みずほ

新社会党 委員長 岡崎宏美

参议院選挙で自公政治を終わらせよう！ かい正康の政策を国会で実現させよう

新社会党は今年夏の参议院選挙に社民党比例代表で立候補予定の「かい正康」さん（新社会党市民運動委員長）の基本政策を改めて発表します。

- ① 真の「政治改革」を実現し、市民の手に政治を取り戻します。
- ② 憲法9条を生かし、反戦・非武装中立・非同盟の旗を掲げ、戦争準備を阻止します。
- ③ あらゆる差別をなくし、ジェンダー平等社会の実現をめざします。
- ④ 持続可能な地球環境を次世代へ繋ぎます。
- ⑤ 生きものと環境の未来を守るためにも脱原発政策を求めます。
- ⑥ 消費税縮小・廃止、全ての人の生活を保障す

かい正康



生きづらい社会を変える

- ⑦ 高齢者の生活、こどもの成長を社会全体で支えま
- ⑧ 保健・医療・福祉の充実、利用しやすい生活保護制度で、いのちの安全保障政策を推進します。
- ⑨ 人間らしく働き続けるために貧困と格差の解消を求めます。
- ⑩ 教育の公的サービスの充実で、公平で豊かな



トラックドライバーと対話

- ⑪ 農林漁業の育成、食の安全保障と温暖化防止を進めます。
- ⑫ 大規模自然災害への抜本的・組織的対応を目指します。
- ⑬ 地方自治の充実で地域を再生し、誰もが安心して暮らせる社会の実現をめざします。



週刊新社会を
読みませんか

お問い合わせ先